

当年度の活動について記載し、毎年提出する用紙です。

(様式第 12 号)

発出番号のない団体は番号の記入の必要なし。申請日は、決められた期間内の日

番 号
令和 年 月 日

(森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会)
公益社団法人京都モデルフォレスト協会
理事長 安藤 孝夫 様

(活動組織名)
(代表者役職)
(氏名)

印

令和〇年度 里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

里山林活性化による多面的機能発揮対策実施要領（令和7年3月31日付け6林整森第266号林野庁長官通知）別紙のⅢの第5の4（1）に基づき、下記のとおり里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金の採択を申請する。

記

1. 活動組織名（法人の場合は末尾に法人番号を括弧書きで記載）

〇〇の森保全の会

（法人番号： ）

2. 協定の対象となる森林の位置

京都府〇〇市△△×-×、△△×-×、△△×-×

※対象森林の地番を記載する。なお、対象森林は「山村多面的機能発揮対策実施要領」第2の1の森林を対象とするが、当該森林が当該事業実施に対して規制がない森林であることを確認する。地番まで記載する。「〇〇他」とせず、全ての箇所を記載する

3. 担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号を記載）

森 林太郎（会計）

090-〇〇〇〇-〇〇〇〇（携帯電話）

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

区分	交付単価等	森林面積等	交付金額	都道府県の支援額	市町村の支援額	計
活動推進費	38,000 円/年	—	38,000 円	円	円	円
地域活動型 (森林資源活用)	120,000 円/ha 116,000 円/ha 112,000 円/ha	3.0ha	360,000 円	円	円	円
地域活動型 (竹林資源活用)	332,000 円/ha 304,000 円/ha 276,000 円/ha	0.5ha	166,000 円	円	円	円
複業実践型	191,000 円/ha 176,000 円/ha 162,000 円/ha	ha	円	円	円	円
小計	—	ha	564,000 円	円	円	円
機能強化	800 円/m	100m	80,000 円	円	円	円
関係人口創出・維持	50,000 円/年	—	円	円	円	円
資機材等整備	1/2 以内	259,200 円	129,000 円	資機材は千円未満切捨てて記入		円
	1/3 以内	円	円	円	円	円
計	—	—	773,000 円	円	円	円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積		3.0ha				

(注1) 機能強化は円/m、関係人口創出・維持は円/年を単位とする。

(注2) 交付対象とする面積は0.1haを、延長は1mを下限とする。

(注3) 地域活動型及び複業実践型の交付単価は、上段から活動1年目、活動2年目、活動3年目の単価とする。

(注4) 資機材等整備の森林面積等欄は、金額を記載すること。なお、資機材等整備のうち林内作業車、薪割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋の購入金額若しくは関係人口創出・維持による活動で使用する移動式の簡易なトイレの賃借料は「1/3以内」とする。

(注5) 都道府県の支援額、市町村の支援額及び計については、申請時に都道府県や市町村から予定額を聞いている場合等に記載すること。

5. 事業費

$$38,000 + 360,000 + 166,000 + 80,000 + 259,200 = 903,200 \text{ 円}$$

(注) 事業費は、活動推進費、地域活動型、複業実践型、機能強化、関係人口創出・維持、資機材等整備の購入額の合計額とする。

6. 月別スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動推進費	協林況調査、実施のための話し合い											
地域活動型 (森林資源活用)	被害木、劣性木、支障木、不要木の間伐											
資源活用の取組												
地域活動型 (竹林資源活用)												
資源活用の取組												
複業実践型												
機能強化												
関係人口創出・維持												
資機材等整備												

資機材以外の購入予定 (活動費より購入する消耗品)	ノコギリ、安全地下足袋、軍手等
活動終了予定日	令和7年12月28日
現地確認希望時期	令和7年12月28日

(注) 年度内の活動が終了したら、終了後1カ月以内または地域協議会の定める最終締め切り日のいずれか早い日までに所定の様式により実施状況報告を行うこと。

また、活動終了時に、現地において活動状況の確認を行います。

(注) 積雪の予測される地域においては、降雪前に現地確認を終えるよう予定をたてること

7. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
安全講習	チェーンソーの安全な取扱い、安全な伐採	5月
		月

8. 関係人口創出・維持の相手先及び活動内容

【地域外関係者の相手先名】
【活動内容】

注) 地域外関係者との現地確認や活動内容の調整を必ず行うこと。

9. 資源活用 of 取組内容

【活動内容】 伐採木を薪、しいたけ原木に活用 伐採竹をチップ化し、土壌改良材に活用 農業用資材に活用

注) 利用する資源の範囲及び収益の取扱は森林所有者と事前に協議するものとする。

< 施行注意 >

以下の資料を添付すること。

- ・活動計画書
- ・協定書の写し
- ・活動組織の規約の写し
- ・農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（個別規範：林業）事業者向けチェックシート
- ・環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート

等を添付するものとする。

記載事項及び添付資料が既に提出している資料の内容と重複する場合には、その重複する部分については省略できることとし、省略するにあたっては、提出済の資料の名称その他資料の特定に必要な情報を記載の上、当該資料と同じ旨を記載することとする。

注1) 面積は0.1ha、延長はm単位で記入。以下は切り捨て

(注2) 当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる里山林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する里山林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに里山林の整備を実施する面積を記載すること。

(注3) 都道府県の支援額、市町村の支援額及び計については、申請時に都道府県や市町村から予定額を聞いている場合等に記載すること。

(注4) 地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプの交付単価は、活動計画の経過年度によって異なるので留意すること。

資機材・施設の整備の森林面積等の欄については、購入予定額を記載

5. 事業費（活動推進費＋各タイプ計＋資機材・施設の整備（購入額））

$$112,500 + 638,500 + 259,200 = 1,010,200$$

6. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1. 活動推進費										
対象森林の調査、打合せ		←→								
2. 実践活動										
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)										
間伐、雑草木の刈払、搬出				←→						
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)										
対象侵入竹の除去・処理						←→				

B 森林資源利用タイプ										
C 森林機能強化タイプ										
D 関係人口創出・維持タイプ										
3. 資機材・施設の整備等										
チェーンソー購入			←→							

資機材以外の購入予定 (活動費より購入する消耗品)	ヘルメット、防護服、鉋、鎌等
活動終了予定日	12月末
現地確認希望時期	1月中旬

(注) 年度内の活動が終了したら、終了後1カ月以内または地域協議会の定める最終締め切り日のいずれか早い日までに所定の様式により実施状況報告を行うこと。また、活動終了時に、現地において活動状況の確認を行います。

(注) 積雪の予測される地域においては、降雪前に現地確認を終えるよう予定をたてること

7. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
安全講習	安全装備、作業についての講習	7月
		月

8. 関係人口創出・維持タイプの相手先及び活動内容

<p>【地域外関係者の相手先名】</p> <p>【活動内容】</p>

注) 地域外関係者との現地確認や活動内容の調整を必ず行うこと。

<施行注意>

作業安全のための規範（個別規範：林業）事業者向けチェックシート、環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート、活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。

・資機材・施設の整備を申請する場合は、別途、「資機材等購入理由書」の提出が必要です

記載事項及び添付資料が既に提出している資料の内容と重複する場合には、その重複する部分については省略できることとし、省略するにあたっては、提出済の資料の名称その他資料の特定に必要な情報を記載の上、当該資料と同じ旨を記載することとする。

